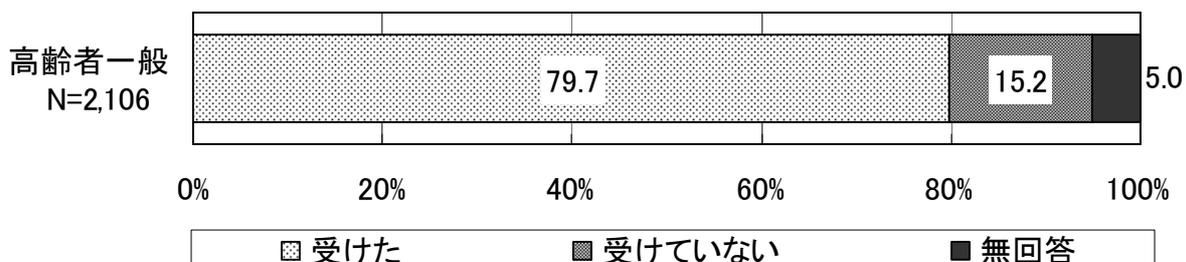


## 4. 健康・医療（介護と医療の連携）

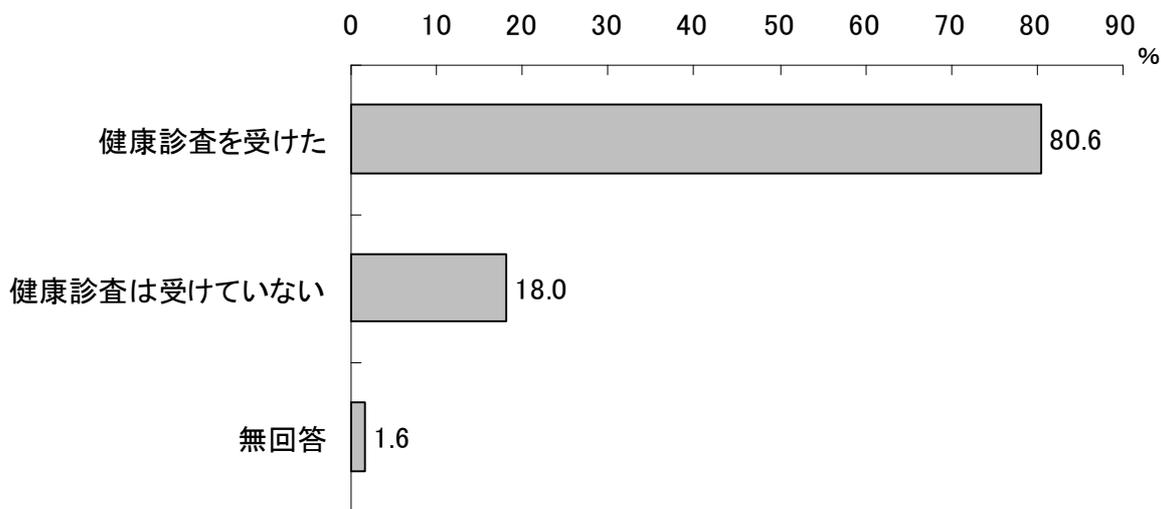
### （1）健康診査の受診状況

ア. 健康診査を受けた方の割合は、高齢者一般で 79.7%、これから高齢期一般で 80.6%（受診機関に関わらず受けたと回答した方の合計）となっている。



図表 38 健康診査の受診状況／高齢者一般（単数回答）

【これから高齢期一般（N=568）】

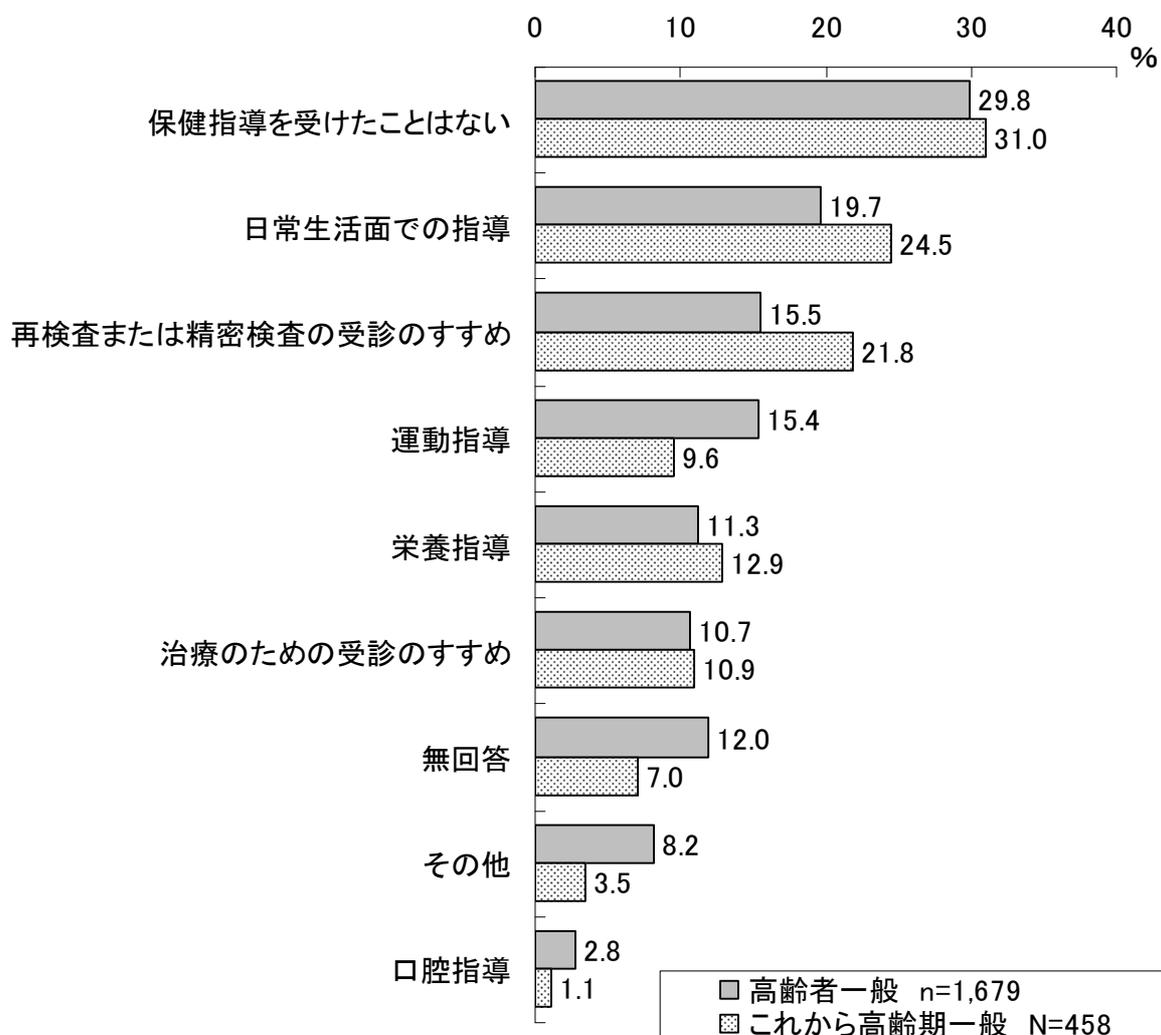


図表 39 健康診査の受診状況／これから高齢期一般（複数回答）

## (2) 保健指導の内容

ア. 高齢者一般、これから高齢期一般ともに、「保健指導を受けたことはない」が3割程度と最も多い。

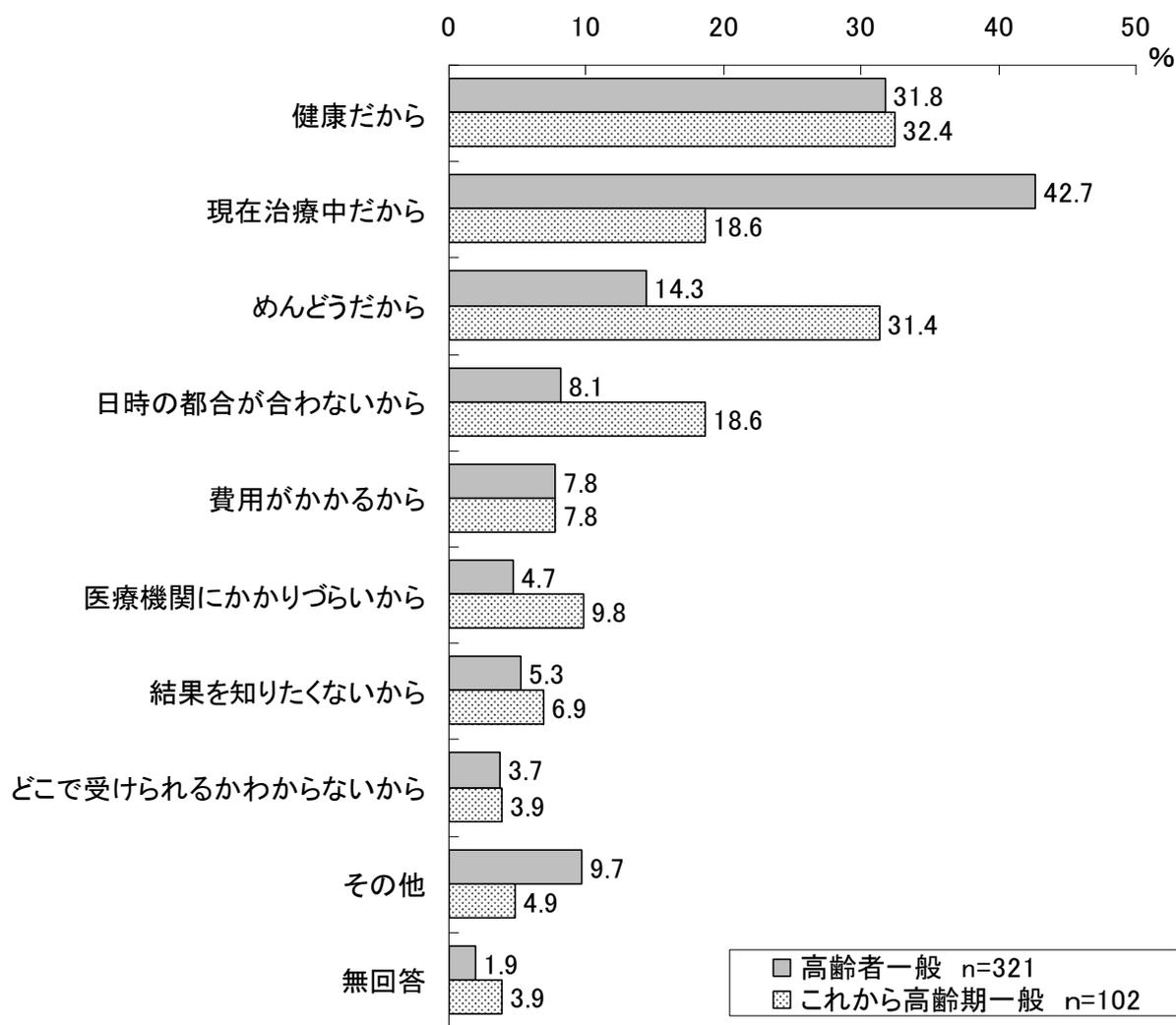
イ. これから高齢期一般では、「日常生活面での指導」「再検査または精密検査の受診のすすめ」の割合が高くなっている。



図表 40 保健指導の内容 (複数回答)

### (3) 健康診査を受けていない理由

- ア. 高齢者一般、これから高齢期ともに「健康だから」が3割程度と高い割合となっている。
- イ. この他の理由としては、高齢者一般では「現在治療中だから (42.7%)」の割合が最も多い。
- ウ. 一方、これから高齢期一般をみると「めんどうだから (31.4%)」、「日時の都合が合わないから (18.6%)」の割合が高い。



図表 41 健康診査を受けていない理由 (複数回答)

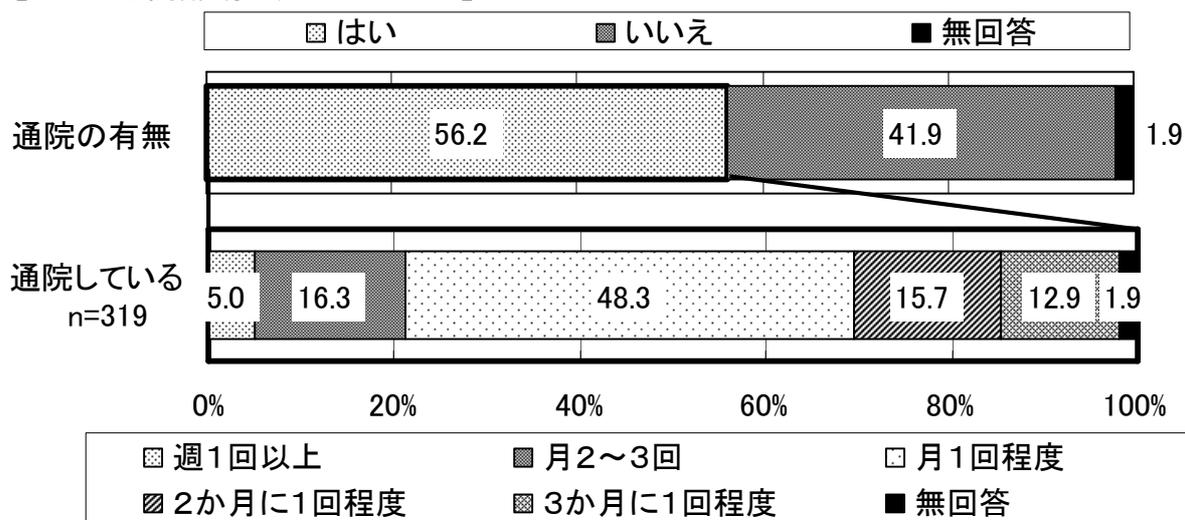
#### (4) 通院・往診等の頻度

ア. これから高齢期一般では、病院・医院（診療所、クリニック）に通院している人は、6割弱となっている。

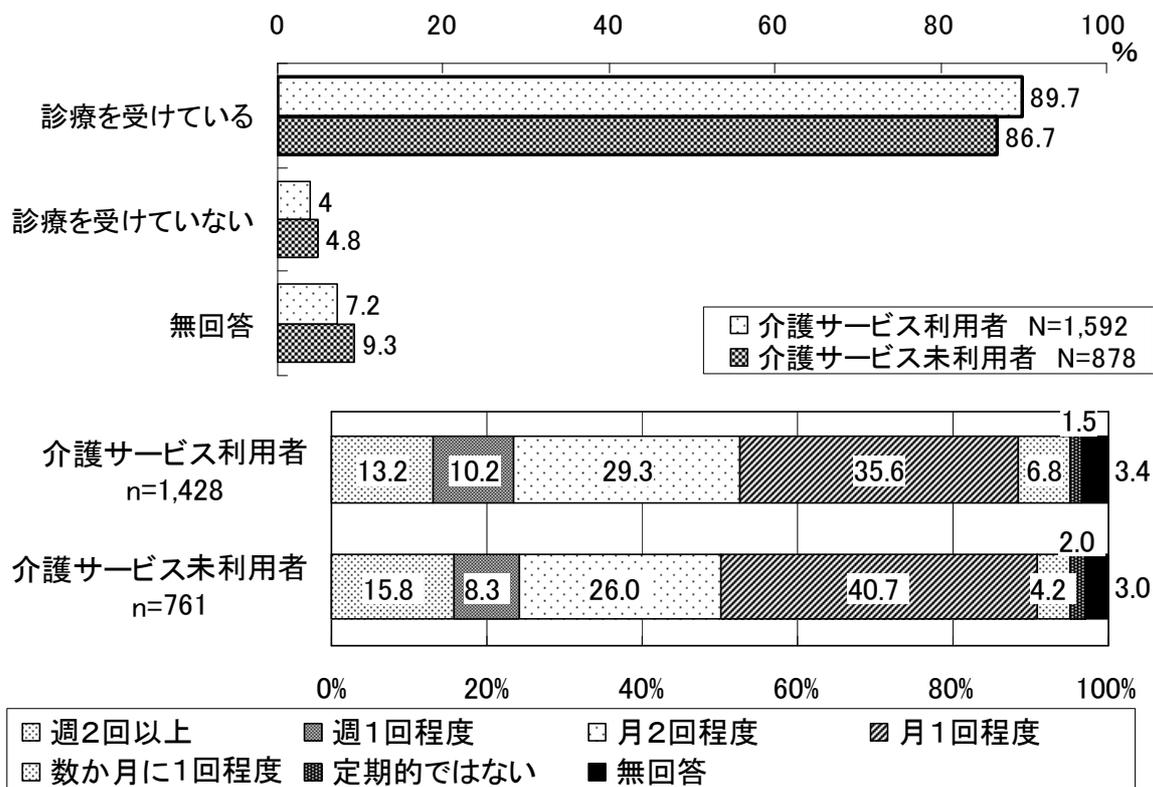
イ. 介護サービス利用者、介護サービス未利用者では、診察を受けている人（通院または往診により病院・医院を利用）が、それぞれ9割弱となっている。

ウ. 通院・往診の頻度をみると、これから高齢期一般、介護サービス利用者、介護サービス未利用者のいずれも、「月に1回程度」が最も多い。

【これから高齢期一般（N=568）】



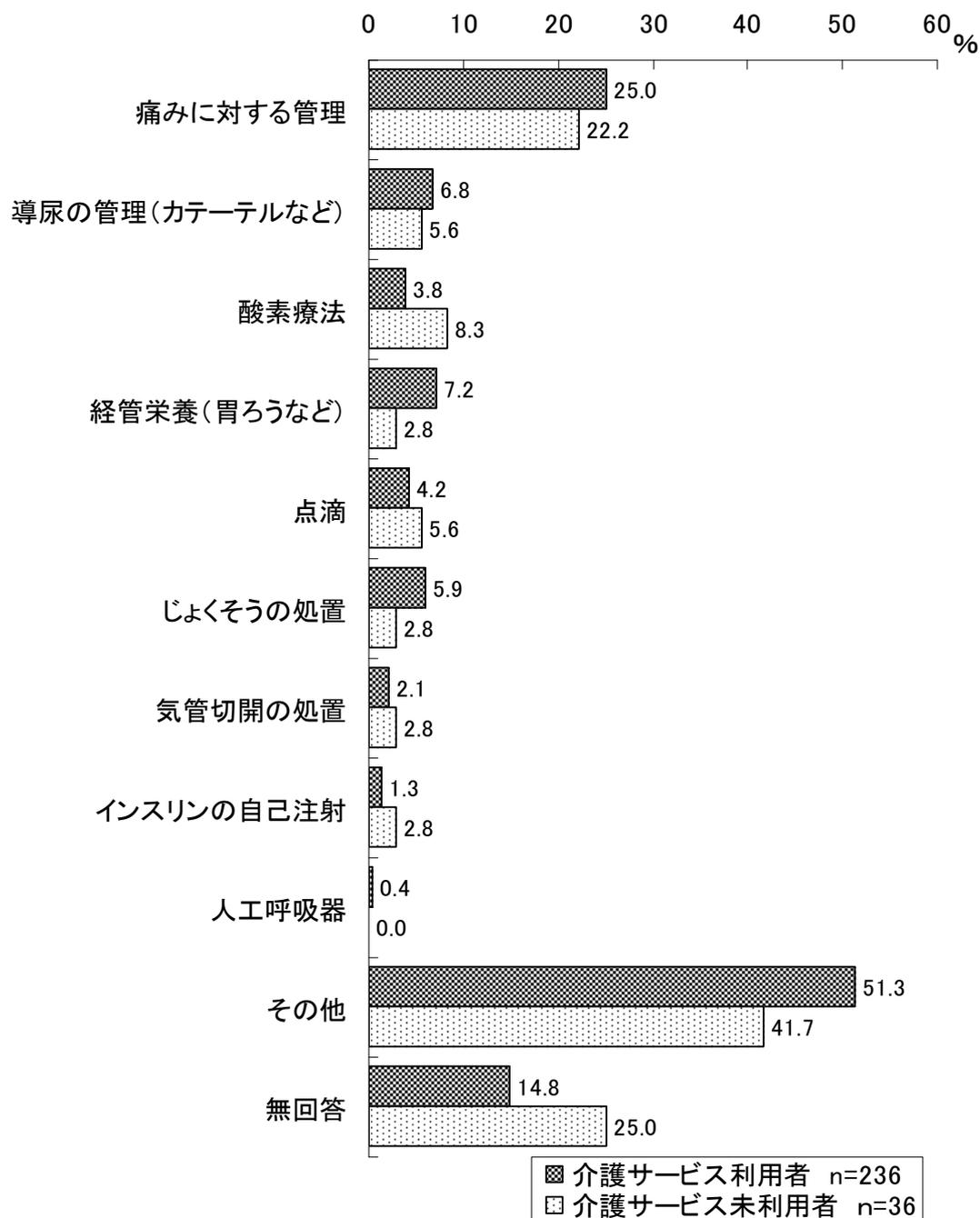
図表 42 通院の状況及び通院・往診等の頻度／これから高齢期一般



図表 43 通院・往診の状況及び通院・往診等の頻度（単数回答）

## (5) 在宅医療の内容

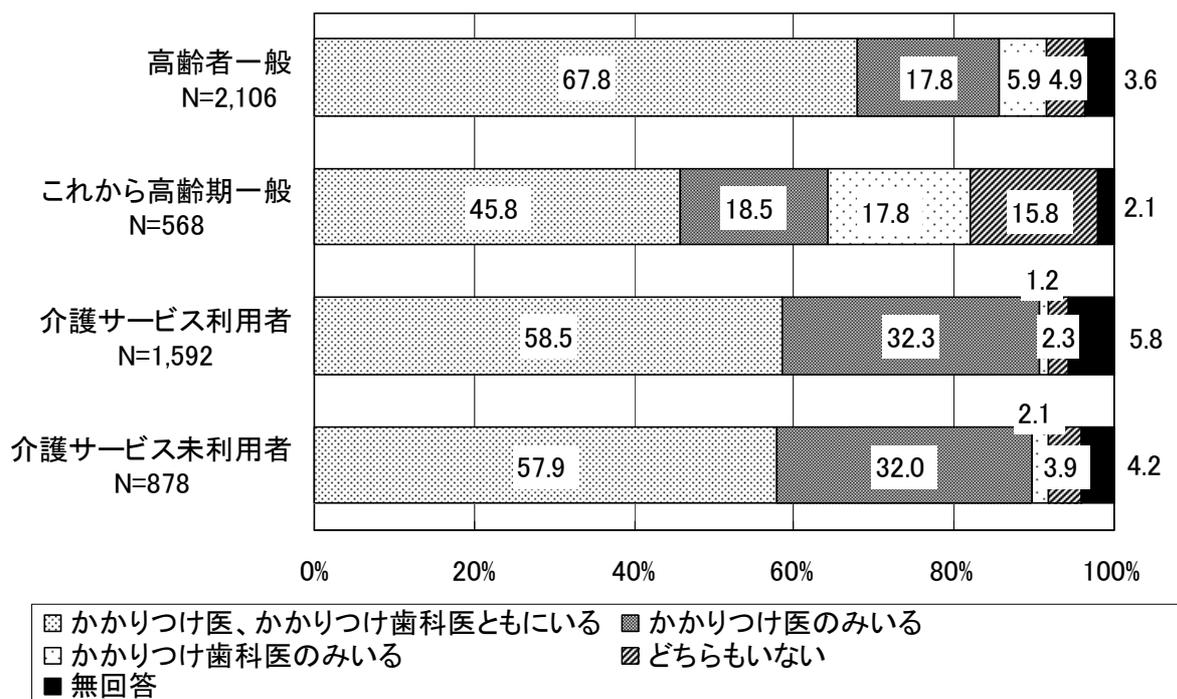
- ア. 要支援・要介護状態にある方の在宅医療の内容をみると、介護サービス利用者、介護サービス未利用者ともに「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」が最も多くなっている。
- イ. その他では、血圧測定などの健康管理全般の記述が多くなっている。



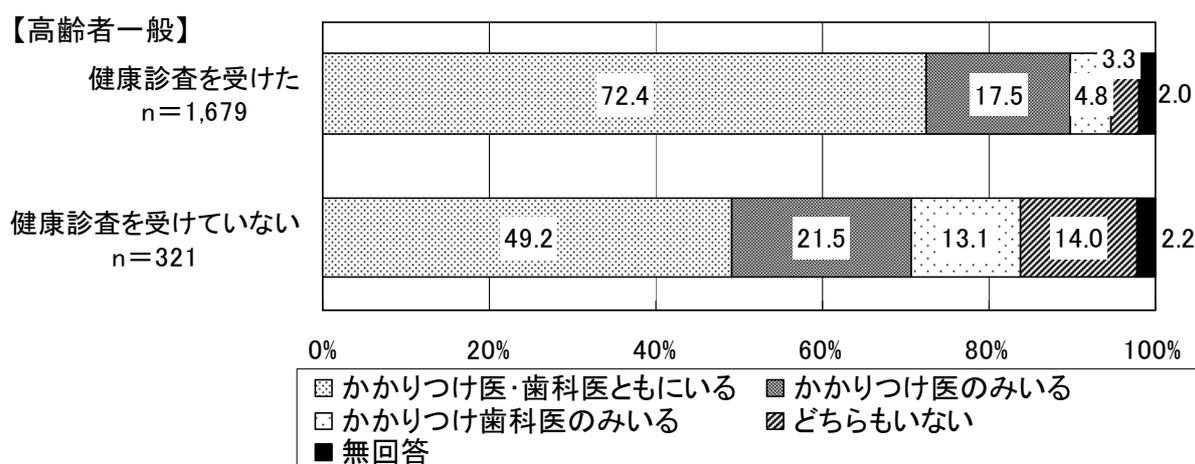
図表 44 医療処置の内容／介護サービス利用者・介護サービス未利用者（複数回答）

## (6) かかりつけ医の有無

ア. いずれの調査も「かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる」が最も多い。  
 イ. 健康診査の受診状況別にかかりつけ医の有無をみると、健康診査を受けた人で「(かかりつけ医、かかりつけ歯科医の) どちらもいない」割合が3.3%であるのに対し、健康診査を受けていない人は14.0%と、1割強高くなっている。



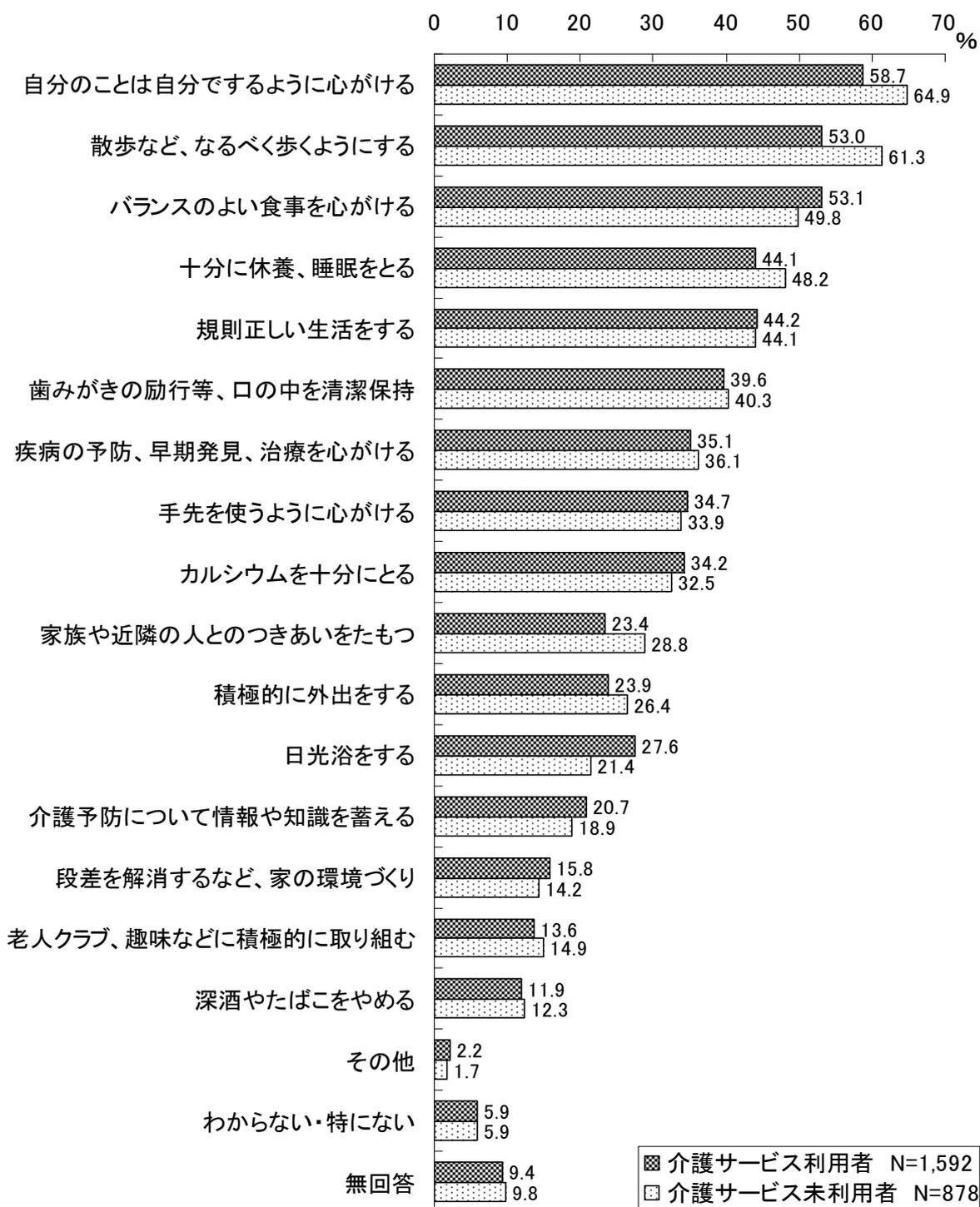
図表 45 かかりつけ医・かかりつけ歯科医の有無 (単数回答)



図表 46 健康診査の受診状況×かかりつけ医・かかりつけ歯科医の有無 (単数回答)

## (7) 寝たきりや認知症の予防・改善のための取り組み

ア. 介護サービス利用者、介護サービス未利用者ともに「自分のことは自分でするように心がける」「散歩など、なるべく歩くようにする」の割合が高くなっている。特に、介護サービス未利用者の割合が高くなっている。



図表 47 介護予防の取り組みの必要性 (複数回答)